



青 雲 台

令和 8 年 7 月 2 4 日 (金) 文責：校長 田口 ひろみ

学校教育目標

めあてをもって学ぶ子
自他を大切にする子
体をきたえる子

明日から夏休み!!

4月7日から始まった1学期も今日で終わり、明日からは子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。運動会や修学旅行、宿泊学習など数々の大きな行事を経験しながら、みんなで考え、みんなで輝く学校を目指して日々の活動にも全力で取り組んできました。1学期に身に付けた力をさらに大きく伸ばすことができるよう、学校から出されている「くらしのやくそく」を守り夏休みも計画的、自律的に過ごしてほしいと思います。

～夏休みを機にスマホやゲームなどの使い方について考えてみませんか～ 「制限よりも対話とルールを」

子どもたちのメディア利用について、様々な場面で課題が出されています。6月に実施した「家庭学習・生活リズム見直し週間」の取組の中でもメディアに関するコメントが多くありました。そんな中、なるほどと思える取組例を見つけたので紹介します。

高学年のお子さんがあるご家庭で、お子さんのスマホの利用に必要と思われる制限をかけていたのですが、子どもは様々な手段で突破してしまうため、「なぜ、スマホを長時間使うと脳や睡眠に悪影響があるのか」を親子で一緒に調べたところ、理由を理解したことで自分から使い方を考えるようになったそうです。また、週に一度ルール見直し会議を開き、平日クリアで土日延長のボーナス制、夜9時以降は家族全員のスマホを充電器に置いて触らない等のルールを決めたところ、子どもからの不満は減り、家族の会話が増えたそうです。

ちなみに、EU(欧州連合)27の加盟国では、13歳未満の子どものSNS利用を制限(3歳未満は原則接触禁止)し、「子どもたちは現実世界で過ごし、対面で遊びながら友情を育む時間が必要」との方針を打ち出しました。

これから始まる夏休み、子どもたちがメディアと上手に付き合いつつ、今しかできない経験や体験を通して一回り大きく成長して2学期元気に学校に戻ってくることを楽しみにしています。

水の事故から命を守る

7月15日(水)に5・6年生を対象とした着衣泳の学習を行いました。衣服を着た状態で水の中に入った子どもたちは、想像以上の重さに驚きながらも、ペットボトルを使って浮く練習や、万が一水の中に落ちてしまったときなどの対処の仕方について学びました。

全国各地で毎年水難事故のニュースが絶えません。事故に遭わないようにすることが何より大切ではありますが、いざというときに自分の命を守る行動ができる力も育んでいきたいと思います。



世界遺産出前授業・租税教室を行いました

7月6日に世界遺産出前授業、7月16日に租税教室が行われ、6年生が参加しました。

世界遺産出前授業は中部教育事務所から社会教育主事が来校し、岩手県にある三つの世界遺産（平泉・橋野鉄鉱山・御所野遺跡）について授業をしていただきました。ちょうど社会科で歴史の学習が始まったこともあり、子どもたちは強い関心をもって授業に参加しました。

また、租税教室では、自分たちの生活を支えている税について学びました。もし税金がなかったら、困ることがたくさんあることに気づき、よりよい暮らしのためには必要なものだという意識を高めました。



PTA 救急救命講習を開催しました



7月21日（火）に今年度のプール当番をお願いする皆さんを中心に PTA 救急救命講習を行いました。今年度は10名のご参加をいただき実施することができました。

花巻北消防署から講師の先生をお招きし、救命についての必要な知識や心肺蘇生、AED の使い方等を実際の場面を想定しながら教えていただきました。

プールの開放は暑い夏休み中のお楽しみの時間になっている子どもたくさんいると思います。その楽しい時間のために保護者の皆様のお力をお借りできることを本当にありがたく思っていました。

お忙しいところ、プール当番をお引き受けくださった皆さん、そして、救急救命講習にご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



おめでとうございます！

第20回岩手県小学生バドミントンダブルス大会

5年生以下男子 優勝 鎌田 蓮世 さん

6年生以下男子 優勝 菊池 桜太 さん



第13回はなしん児童桜の絵画コンクール

1・2年の部 優秀賞 八重樫 七海 さん

5・6年の部 審査員特別賞

昆野 夢那 さん

八重樫 遥花 さん



☆7月2～3日の2日間、石鳥谷中学校の2年生が社会体験学習で来校し、3名がそれぞれ3年生、4年生、5年生の学級で学習のサポート等をし、2名の生徒さんは図書館で蔵書の整理等を行いました。中学生の来校に子どもたちは興味津々に積極的に話しかけたり一緒に遊んだりしている姿も見られました。中学生の姿が、子どもたちにとってのキャリア教育にもつながっていました。

